

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市鶴川緑の交流館ホール等		
施設概要	【所在地】町田市能ヶ谷1-2-1 【開設年月】2012年 【開館日時】第1・3月曜日と年末年始を除く午前8時30分から午後10時まで 【建物面積】5979㎡ 【建物内容】鶴川駅前連絡所、鶴川駅前図書館を含む複合型施設。 300席のホール、多目的室、リハーサル室、会議室、練習室等を備える。 【建物構造】鉄筋コンクリート 地上3階地下2階建		
設置目的	市民の芸術文化の創造活動及び地域的な共同活動その他の市民活動の推進を図り、もって魅力ある地域社会づくりに寄与するため。 (町田市鶴川緑の交流館条例第1条より)		
設置根拠法令・条例	町田市鶴川緑の交流館条例		
所管部課	文化スポーツ振興部 文化振興課	問合せ先	042-724-2184
施設ホームページURL	http://www.m-shimin-hall.jp/tsurukawa/		

(2)指定管理者

指定管理者名	一般財団法人町田市文化・国際交流財団、和光産業株式会社 ＜町田市鶴川緑の交流館指定管理業務共同事業体＞	法人番号	なし
指定管理者所在地	＜代表団体 一般財団法人町田市文化・国際交流財団＞町田市森野2-2-36		
指定期間	2017年4月1日～2022年3月31日		
指定管理業務の内容	・ホール等の施設及び附属設備の貸出し。 ・市民の芸術文化の向上のため、文化事業を市民が主催あるいは参加する機会を提供する。また、音楽公演、古典芸能などの文化事業を実施し、市民に提供する。 ・ホール等の各種点検業務を行い、維持管理を行う。		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
文化を通じた「夢のあるまちづくり」の推進 (バランスの取れた多種多様な事業の発信)	2022年3月	主催事業を26事業、共催事業を8事業、市民参加型事業を20事業実施し、全体入場者数は12,877人であった。
地域に根差し地域に貢献する運営の推進	2022年3月	町田市にゆかりのある演奏家などによる「サロンコンサート」を6回実施。地元の若手人材の活動を支援し、地域の文化振興に貢献した。
「芸術文化の創造活動や生涯学習を促進する交流拠点」の実現	2022年3月	複合施設の機能を活かした図書館との連携事業の実施に加え、町田市文化協会や鶴川落語会など地域の文化団体と連携し、カフェや交流スペースを活用したイベントを20事業以上実施した。

3. 昨年度の課題

内容	・利用率が低調な諸室の利用促進 ・市民等が文化芸術にふれあう機会の拡充
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	B	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	選定時の提案内容に対しては、全項目について継続的な実施がみられる。特に、「芸術文化の創造活動や生涯学習を促進する交流拠点の実現」に対しては、地域の文化団体である鶴川ショートムービーコンテスト実行委員会と連携のうえ、上映会の開催方法を改善し、例年以上に参加者同士の交流を促進した点が評価できる。 2018年度の課題であった「利用率が低調な諸室の利用促進」に対しては、諸室の案内ポスターを館内に掲示するなどの取組がなされ、利用率が低調であった多目的室と会議室(4室)の利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない期間(4月～1月)で比べるとそれぞれ2018年度から7.3ポイント、4.1ポイント増加した。 もう一つの課題であった「市民等が文化芸術にふれあう機会の拡充」に対しては、ジャズライブや怪談ライブ、講演など、今まで以上に幅広いジャンルの事業を実施している。今後も、さらなる取組の展開に期待したい。 今後については、相対的に利用率が低い諸室の利用促進に向けて、より一層施設のPRに取り組まれない。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を適切に行うとともに、「新しい生活様式」に沿った利用を実現するため、利用者からの要望に柔軟に対応されたい。	

【評価対象年度 2019年度】

指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<p>開館から約7年半が経過したが、1日平均1,400人を超える利用が継続されている。市民はもとより団体や企業、大学などの利用もあり、事業形態も主催・共催・協力事業など多種多様である。</p> <p>主催事業として、「菅原洋一コンサート」や「沖仁フラメンコギター」、「日野皓正クインテットライブ」、初開催の「福川淳二の怪談ナイト」、人気講師による「神田松之丞独演会」、「映画上映会」、「若き演奏家による水曜午後の音楽会」など、26事業を実施した。その他「サロンコンサート」を6回実施し、多くの方にご来場いただいた。</p> <p>今年度で5年目を迎えた「鶴川ショートムービーコンテスト」では、昨年の応募数87作品を上回る92作品の応募があった。また、今回は入選作品上映会の開催方法を改善したことで、監督同士との交流や、監督と観客の交流が生まれ、例年以上に大変活発なイベントとなった。</p> <p>その他、和光大学との共催事業を含め、地域住民が主体的に実施する芸術・文化活動への支援に大きく貢献することができた。</p> <p>施設管理の面では、各種点検業務にあわせ防犯・防災に注視した日常管理を行い、安全安心に利用できる環境整備に努めた。</p> <p>年度末には新型コロナウイルスによる影響を受けたが、施設利用率は2018年度と同水準を保つことができた。</p>
-------------------------------	---

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	<p>【調査公演数】31公演等で実施</p> <p>【配布枚数】7,085枚</p> <p>【回収枚数】2,033枚</p> <p>【回収率】28.7%</p> <p>【調査方法】公演時に来場者へアンケート用紙を配布し回収</p>
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (事業満足度アンケート)	A: 90%以上 B: 70%～90%未満 C: 70%未満	95%	86.7%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
目標値	90	93	95	98	100
実績値	88.5	87.3	86.7		

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
施設利用率 (貸出諸室平均)	A: 70%以上 B: 50%～70%未満 C: 50%未満	70%	63.9%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
目標値	65	70	70	72	75
実績値	61.2	63.7	63.9		

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
事業収支比率 (入場料収入額+市以外からの助成金収入額)/事業支出額	A: 90%以上 B: 70%～90%未満 C: 70%未満	103%	101.0%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
目標値	103	103	103	103	103
実績値	99.0	99.8	101.0		

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	<p>事業収支比率については、2018年度の実績を上回り、かつA評価の基準を満たしている。利用者満足度及び施設利用率については、B評価の水準である。</p> <p>以上の結果を総合的に勘案し、総合評価は「B」とする。</p> <p>【利用者満足度アンケートについて】 より良いサービスを提供できるよう、アンケート調査の手引きを参考に実施されたい。</p>

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2019年度】

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	利用者の公平な選考	施設の貸出の抽選会を毎月実施している。	抽選会を毎月適正に実施している。	適
	広報活動	広範に独自の広報活動を実施している。	HP、コンサートガイド、市内外タウン誌、市内掲示板、横断幕等で広く周知している。	適
施設の運営方針・管理	設置目的に合致したサービスの提供	舞台運営について、利用関係者との打合せ等を行い、サポートしているか。	舞台スタッフとの打合せや、ホール・諸室見学を実施し、パンフレット等で丁寧な説明に心がけ、円滑な舞台運営に努めている。	適
	施設の維持管理	修繕・清掃を適切に行い、日報等で報告している。	こまめに清掃、修繕を行い、作業日報や緊急の際は口頭で報告をしている。	適
	主催・共催事業の実施	年間25事業以上を実施。	34事業を実施した。	適
情報公開・個人情報保護	情報保護	マニュアルを備え、それに沿った運用がなされている。	財団の規定どおりに運用している。	適
	情報公開	マニュアルを備え、それに沿った運用がなされている。	財団の規定どおりに運用している。	適
要望対応	苦情発生抑制の対策	マニュアルを備え、それに沿った運用がなされている。	財団の規定どおりに運用している。	適
	意見、苦情の管理	意見、苦情を集約し、共有化している。	意見要望シートが作成され、共有・集約している。	適
危機管理	防災訓練の実施	災害、緊急時に備えたマニュアル・体制を備え、防災訓練を実施している。	マニュアルを備え、年間2回防災訓練を実施している。	適
	帰宅困難者の受け入れ	帰宅困難者の一時滞在施設としての機能を有する。	帰宅困難者の受け入れについて、基本協定書に記載があり、マニュアルを備えている。	適
	各種保険への加入	基本協定書に定めている保険に加入している。	公立文化施設賠償責任保険等に加入している。	適
財務の安全性	資金の管理状況	税理士による適正な経理及び監事による適正な監査報告を行っている。	帳簿類は税理士が3ヶ月に1度確認を行い、決算書は公認会計士である監事が監査報告を行っている。	適
	団体の財務状況	借入金が無い。	借入金が無い。	適
人的安定性	職員研修	財団経営・マネジメントの研修に職員を参加させている。	経理、財団経営、事業・施設運営、マネジメントの各種研修に各職員が参加している。	適
	職員の配置	業務に必要な有資格者等を配置している。	基本協定書に定める有資格者を配置している。	適
管理経費の縮減	経費縮減の実施(施設管理)	指定管理者が施設管理において縮減に対する工夫をしている。	こまめな消灯・節水・温度管理を行うとともに、共同事業体としての施設管理により、業務の効率化が図られている。	適
	経費縮減の実施(事業管理)	指定管理者が事業管理において縮減に対する工夫をしている。	事務作業のシルバー人材センターへの外注や、事業協力会の活用等により、経費削減の取組を行っている。	適
地元貢献	市民参加型事業等の実施	年間10事業以上を実施。	20事業を実施した。	適
	地域社会活動等への参加	地域・市内の関係機関の事業への参加、協力が年間2回以上行われている。	2回以上実施した。	適

【評価対象年度 2019年度】

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	全項目について、要求水準を満たしていることを、現場調査、日報、事業報告書、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	年度	2017		2018		2019		2020		2021	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	147,500	147,500	147,500	147,500	148,500	148,500	150,000		150,000	
	利用料金	34,000	30,755	34,000	33,116	34,000	29,491	41,767		43,923	
	事業収入	19,600	18,580	10,700	9,394	10,700	17,996	20,401		20,876	
	その他	2,530	4,176	2,530	4,121	2,530	3,798	6,157		6,157	
	計	203,630	201,011	194,730	194,131	195,730	199,785	218,325	0	220,956	0
支出	人件費	58,880	51,035	61,275	52,375	58,872	49,072	57,153		57,153	
	施設管理運営費	122,140	122,468	117,903	124,453	120,775	133,427	131,759		133,929	
	事業経費	15,770	16,232	12,299	8,778	12,830	16,657	18,922		19,383	
	その他	6,840	5,252	3,253	4,800	3,253	6,228	10,491		10,491	
	計	203,630	194,987	194,730	190,406	195,730	205,384	218,325	0	220,956	0
総計(収入-支出)		0	6,024	0	3,725	0	-5,599	0	0	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業者の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2017	2018	2019	2020	2021
経常利益率	0.1	0.5	-2.8		
負債比率	106.2	119.2	142.3		

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	事業数が2018年度よりも増えたため、事業収入が2018年度に比べて191.6%に増加し、収入全体では102.9%に増加した。一方、支出については、事業経費が2018年度に比べて189.8%に増加したことに加え、施設管理運営費が107.2%に増加し、支出全体では107.9%に増加した。新型コロナウイルス感染症の影響や緊急的な修繕が発生したことなどにより単年度の収支は赤字となったが、指定管理期間内においては、施設を安定的に運営できる財務状況であると判断し、結果は「適」とする。